

競技注意事項

1 本大会は、2007年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会規則によって実施する。

2 競技者の招集は、次の通り行う。

(1) 招集所は、第4ゲート付近に設置する。

(2) 招集時間は、次の通りとする。

	トラック競技	フィールド競技
招集開始時間	競技開始 40 分前	競技開始 60 分前
招集完了時間	競技開始 20 分前	競技開始 40 分前

(3) 招集の手順

(ア) 競技者は、招集完了時刻まで招集所で待機し、最終点呼を受けた後、競技者係の指示に従うこと。

(イ) 代理人による最終点呼は認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を最初の種目の招集時に申し出ること。

(ウ) 招集完了時刻に遅れた競技者は、該当種目に出場できない。

(4) 招集に遅れた場合は、棄権とみなし出場を認めない。

3 ナンバーカード（番号布）について

ナンバーカードは、27 cm×20 cmの布に男子は黒字、女子は赤字で肉太さ15 mm以上のものを胸背部に付けること。ただし、走高跳、棒高跳に出場する競技者は、どちらか一方でもよい。

4 競技について

(1) 走高跳におけるバーの上げ方は、次の通りとする。

男子	135(練習) 140 — 145 — 150 — 155	決勝	(150) 155 — 160 — 165 — 170 以後 3 cm
女子	115(練習) 120 — 125 — 130 — 135	決勝	(130) 135 — 140 — 145 — 148 以後 3 cm

順位決定のためのバーの上げ下げは、2 cmとする。

(2) 走高跳、走幅跳及び砲丸投の予選通過記録は、次の通りとする。

男子 走高跳 1 m 5 5 走幅跳 5 m 3 0 砲丸投 9 m 0 0

女子 走高跳 1 m 3 5 走幅跳 4 m 3 0 砲丸投 8 m 0 0

(3) 予選については、各区大会を兼ねている関係ですべての記録を計測するが、決勝については、競技の運営上、下記未満の記録は計測しない。

男子 走幅跳 5 m 0 0 三段跳 9 m 0 0 砲丸投 9 m 0 0

女子 走幅跳 4 m 0 0 砲丸投 8 m 0 0

ただし、(1)、(2)、(3)項目については、コンディション等により変更することがある。

(4) 短距離走では、競技者の安全のため、フィニッシュしたあとも、自分のレーンに沿って曲走路を走ること。

(5) リレー及び走高跳の助走マークは、使用してもかまわない。ただし、各自、各学校で責任を持って片づけること。

(6) 競技場内での跳躍、砲丸投の練習は、予選・決勝ともに競技役員の指示に従って行うこと。

(7) 競技者は競技する以外は、トラック及びフィールドに立ち入る事はできない。また、使用するスタンドは、メインスタンドのみとする。スパイクシューズを履いたままで、スタンド及びスタンド下の通路を通行しないこと。

スタンド（各学校の控場所）での砲丸の管理には、十分に気をつけること。

5 競技の抽選及び番組編成について

(1) 予選におけるトラック競技の走路順及びフィールド競技の試技順は、プログラム記載順の左から右へとする。

(2) トラック競技の予選は、すべてタイムレースで行い、記録の上位24名以内を準決勝または決勝に出場させる。組み分けやレーン順は、番組編成員によって行い、その結果は、記録掲示場所に掲示する。

800mは10名、1500mは18名、3000mは24名程度を決勝に出場させる。

(3) トラック競技のプラスアルファの決定で同タイムが多数出た場合は、着順優勢で決定する。同着の場合は、抽選で決定する。

(4) リレー競走のオーダー用紙は、競技開始1時間前までに招集所に提出すること。（用紙は、招集所に準備しておく）準決勝、決勝もオーダーの変更の有無にかかわらず提出すること。ただし、招集は規定通り済ませること。

6 練習について

(1) ウォーミングアップは、補助競技場を使用する。

(2) フィールド種目の練習は、競技開始前に競技場内で行う。

7 表彰について

(1) 表彰は、各種目とも3位まで、成績のアナウンス後ただちに行う。入賞者は、決勝終了後、ただちに本部の表彰者控席で待機すること。

(2) 入賞者の得点は、1位8点、2位7点、以下6、5、～8位1点とする。

(3) 総合の部は、上位3校を表彰する。

8 その他

(1) 使用する全天候用スパイクシューズのピンの長さは、9mm以下とする。ただし、走高跳については、12mm以下とする。

(2) リレー競走での助走線（ブルーライン）は使用してもさしつかえない。

(3) 抗議の申し立ては、正式アナウンス後15分以内に各区専門委員を通じて審判長に申し立てるものとする。

(4) 本大会は、各区大会（原則として、各種目の予選を区大会とする。）及び県大会の予選（各種目の上位6位に出場権を与える。）を兼ねて行う。

(5) 大会中に生じた傷病については、応急手当は行うが、それ以後は各学校の責任とする。